



田上てぬぐい

たなかみ

第73回企画展



ー暮らしと文化ー



大津市の南部、
田上盆地の農村で、
かつて使われていた
「田上てぬぐい」。
正装にも用いる
かぶり物として、
常に女性たちが身につけました。
展示ではてぬぐいをはじめ、
田上地域の衣生活を中心に、
かつての生活文化について紹介します。



田上郷土史料館 田上てぬぐい 葛に蝙蝠文様から



平成 29 年 7 月 22 日 (土) - 8 月 27 日 (日) 《月曜休館》

【観覧料】 一般 ^{個人} 320 円 / ^{団体・割引} 250 円 高大生 ^{個人} 240 円 / ^{団体・割引} 190 円 小中生 ^{個人} 160 円 / ^{団体・割引} 120 円 《常設展示観覧料でご覧いただけます。》

※団体は 15 名以上。大津市内在住の 65 歳以上の方は一般料金の半額。

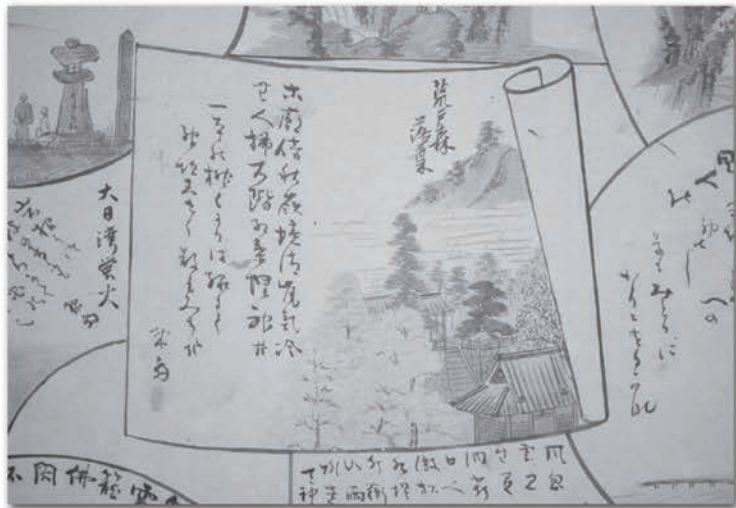
大津市内在住の障がい者の方、市内在住の介護保険の要介護者・要支援者の方は無料(証明するものをご提示ください)。割引詳細はホームページまたは当館まで。

【主 催】大津市・大津市教育委員会・大津市歴史博物館 【協 力】田上郷土史料館・龍谷大学里山学研究センター

大津市歴史博物館

〒520-0037 大津市御陵町2-2 TEL. 077-521-2100 <http://www.rekihaku.otsu.shiga.jp/>

【アクセス】京阪電鉄石山坂本線「別所」駅下車徒歩 5 分 JR 湖西線「大津京」駅下車徒歩 15 分 無料駐車場有り



「田上拾六勝」のうち「荒戸森落葉」 山本栗斎詩 梅田鉄城画
明治29年 田上郷土史料館蔵



田上てぬぐい(テネン) 田上郷土史料館蔵
かぶったときに柄が見えるように計算された図柄。「蜀江に楓」文様は若者向け。



三巾前垂れ(マエダリ) 田上郷土史料館蔵
年配の女性向けの図柄。年を経るほど細かな柄を身に着けました。

第73回 企画展

田上てぬぐい

ー暮らしと文化ー

田上郷土史料館には、たくさんの民具(日常生活用具)が収蔵されています。

高度経済成長期の昭和40年代、地域で普通にあった生活文化が急速に変化していきます。身近にあったモノが次々と失われていく危機感から、上田上牧町の有志が民具の収集をはじめ、昭和44年に田上郷土史料館が開館しました。その中には、「田上てぬぐい(テネン)」や「三巾前垂れ(マエダリ)」など、この地域を特徴づける衣生活資料が含まれています。

これらのうち、三巾前垂れや仕事着、布団地などは、手機で織られました。どれも木綿地の味わい深い織物ですが、まともって残されているのは貴重です。本展では、これらの衣生活資料を中心に同館が収集してこられた、上田上地区のかつての生活を語る民具の数々を展示します。



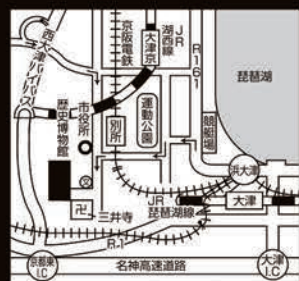
ワタクリキ 田上郷土史料館蔵
摘み取った綿から種をとりだす道具



棟上げ手伝いの夜の宴 昭和46年撮影 田上郷土史料館蔵
農作業だけでなく、女性は正装としてもてぬぐいをかぶりました。



田上郷土史料館
大津市牧の真光寺境内にあります(見学は要事前連絡)。



京阪電鉄石山坂本線別所駅より徒歩5分
JR湖西線大津京駅より徒歩15分
無料駐車場(乗用車約70台)

【企画展関連講座】 ※いずれも事前申込制・有料

■7月22日(土)14:00~15:30 「田上てぬぐいと田上の衣生活」 講師:須藤 護氏(龍谷大学名誉教授)

■8月5日(土)14:00~15:30

「上田上の生活文化を語るー田上郷土史料館のあゆみー」 講師:東郷 征文氏(田上郷土史料館長) 聞き手:和田 光生(本館副館長)

ギャラリートーク 8月3日、10日、17日(いずれも木曜日) 14:00~15:00

展覧会のみどころを解説します。申し込み不要ですので、当日会場(2F企画展示室A)にお集まりください(展示観覧券が必要です)。

大津市歴史博物館

〒520-0037 滋賀県大津市御陵町2番2号
TEL 077-521-2100 <http://www.rekihaku.otsu.shiga.jp>